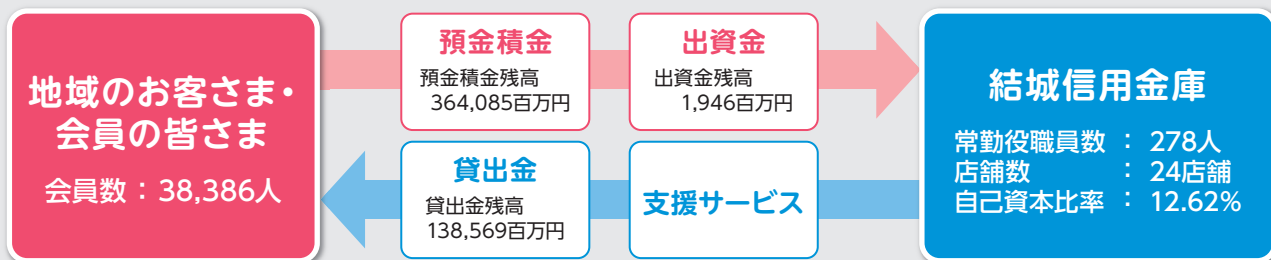


地域活性化のための取組状況

当金庫は、茨城県西地域を主な営業地域とし、地元の中小企業者や住民の皆さまが会員となって、互いに助け合い、発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまにご融資をすることにより、事業の発展や豊かな生活を送るためのお手伝いをさせていただいております。

また、当金庫も地域社会の一員として、地元の中小企業者や住民の皆さまと幅広いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。そして、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育など様々な分野で、地域社会の活性化に積極的に取組んでおります。今後ともこうした取組みを更に強化することにより、地域の持続的発展のお手伝いをさせていただきたいと考えております。



平成31年3月31日現在
(単位:百万円)

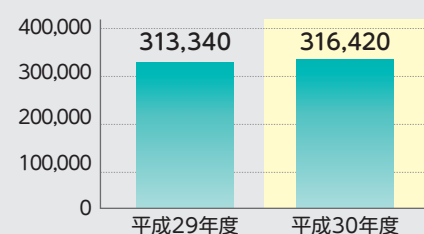
■ 預金に関する事項 (地域からの資金調達状況)

当金庫では、地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをするために、お客さまのニーズに応じて様々な預金商品を取扱っております。

平成30年度は、個人・法人のお客さまとも増加しました。

預金積金残高：364,085百万円

【個人預金残高】



■ 貸出金に関する事項 (地域への資金供給状況)

お客さまからお預かりした預金積金は、地元のお客さまに円滑な資金供給を行うことにより、地域社会の発展のお手伝いをさせていただいております。

地元事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズにお応えするため積極的に新商品の開発に取組んでおります。

貸出金残高：138,569百万円
預金積金に占める貸出金の割合：38.05%

貸出金に関する事項

貸出金残高	138,569百万円
事業者	89,783百万円
個人	45,283百万円
地方公共団体	3,502百万円
設備資金	66,020百万円
運転資金	72,549百万円
消費者ローン	8,534百万円
住宅ローン	35,242百万円

■ 貸出金以外の運用に関する事項

当金庫では、お客さまからお預かりした資金の一部を有価証券等で運用しております。

厳格な基準・細則に基づき、安全性や収益性に留意し、債券を中心とした運用を行っております。

有価証券残高：138,693百万円
預金積金に占める有価証券の割合：38.09%

■ 地域活性化のための取組状況

当金庫は、昨年11月よりウィンターキャンペーンの取扱を実施した際、従来の預金金利の上乗せと併せて、新たな取組みとして地域経済の活性化を図るため、地元企業から懸賞品を購入(結城紬の印鑑入れ・名刺入れ・ペンケース)し、抽選で当選された200名の方々に贈呈させて頂きました。今後も地域創生の一環として、地域の地場産業の情報発信に取組むことで、地域経済の活性化を図って参ります。



結信ビジネスクラブの運営

経営者としての素養、見識を探究するとともに、会員相互の啓発、異業種間の交流と新たな事業展開の発展向上を図ることを目的とした“結信ビジネスクラブ”を平成16年に設立し、現在230先の事業所会員で活動しています。

平成30年度の活動状況

30/6/12 講演会	講師：角井 亮一氏 演題：「アマゾンと物流大戦争～企業経営への脅威～」 参加企業57社・参加人数83人
30/10/11-18 視察研修	視察先：「明治の館でのフルコースと日光方面視察」 参加企業43社・参加人数72人
31/2/19 講演会	講師：松井国税実査官（関東信越国税局課税第二部消費税課） 演題：「消費税の軽減税率制度について」 参加企業45社・参加人数81人



文化的・社会的貢献に関する事項

【スポーツへの協賛】

結城信用金庫杯少年サッカー大会や結城信用金庫県西地区ゲートボール大会を主催するほか、北関東中学校野球大会等のスポーツ大会の協賛をしています。



【ボランティア活動】

6月15日の信用金庫の日にちなんで、献血、清掃活動、募金などの地域貢献活動に取り組んでいます。



【金融教育の実施】

当金庫では、金融教育を通して、将来の地域経済を担う子供たちが必要な金融知識を身に付けしっかりとした金銭感覚を養ってもらうことを目的として、小学生向けの出前金融教室の開催と、中学生を対象とした職場体験を実施しました。また、金融経済教育として「夏休み親子でお金の大切さを学ぼう」を結城市民情報センターにて実施しました。



【地域交流活動】

店舗所在地の地元のお祭りや商工祭り等のイベントに積極的に参加・協力し、地域の皆さまと交流を深め、地域文化の発展に貢献しています。